

第5票 騒音レベル定期及び臨時検査票

令和 年度	学校名 _____
(定期)	測定日時 令和 年 月 日 () 天候 _____
(臨時)	測定場所 年 組 教室 _____ 時 分
騒音レベル	調査者 職名 _____ 氏名 _____ (印)

学 校 長		薬 劑 師		保 健 主 事		養 護 教 諭	
-------------	--	-------------	--	------------------	--	------------------	--

騒音環境を調査後、騒音レベルを測定

騒音環境			発生源	日常の学校生活より、騒音について聞き取りをする。 この際、日常点検の結果を十分に活用すること。
	校内		無・有 ()	
	校外		無・有 ()	
等価騒音レベル (器種:)	(授業が行われる日の授業が行われている時間帯において、児童・生徒がいない状態で測定)			基 準
	窓 閉	窓側	d B	窓を閉めている時
		廊下側	d B	等価騒音レベルは LAeq 50dB 以下であることが望ましい。
	窓 開	窓側	d B	窓を開けている時
		廊下側	d B	等価騒音レベルは LAeq 55dB 以下であることが望ましい。
指導助言事項				
備 考	騒音レベルの測定結果が著しく基準値を下回る場合、内外の環境に変化が認められない限り、次回からの騒音レベルの測定を省略することができる この場合の測定値は、窓閉め時 45 d B 以下、窓明け時 50 d B 以下をいう。			